

汎用画像処理装置 SPG-30Ⅲ

◆ 概要 ◆

SPG-30Ⅲは、外観検査等を行うためのものであり、専用画像処理ライブラリ（画像処理をより簡単に行うための関数）で動作する汎用画像処理装置である。

従来のSPG-30Ⅱの後継機で、SPG-30Ⅱのアプリケーション（文字認識、外観検査、位置決めなど）をそのまま継承して使用できるFA用画像処理装置である。

◆ 特長 ◆

- ・従来製品 SPG-30Ⅱより、コンパクトで軽量、低消費電力である。（体積 23%、質量 36%、消費電力 47% 減）
- ・アプリケーションを作成することにより、外観や寸法検査などのいろいろな用途に使用可能である。
- ・工場環境に適した各種ノイズ、温度、電源などの対環境性能を持つ汎用画像処理装置である。
- ・SPG-30Ⅱの文字認識、外観検査、位置決めなど、既存のアプリケーションをそのまま流用することが可能である。
- ・Enhanced Write Filter^{*1}によるOS保護機能を搭載している。

* 1 Enhanced Write Filter：書き込みアクセスからディスクを保護するシステム



正面外観

◆ 仕様 ◆

項目	仕様, その他
CPU	Intel Core™ i5 520E [2.4 GHz] L2 Cache 256 KB×2 L3 Cache 3 MB
メモリ	DDR3 2 GB ECC 対応
寸法・質量	W270×H150×D250 mm (突起除く) 約 5 kg
電源	(入力) AC100-240 V 50/60 Hz (出力) 連続 170 W : 瞬間 220 W 消費電力：約 38 VA
使用温湿度	5~40℃ : 30~80% Rh
HDD	SSD 8 GB×1
フレームグラバ	最大 4 台接続、同時取り込み可能 モノクロ VGA サイズ
DI/O	入力 16 点 : 出力 16 点 絶縁型
OS	Windows® Embedded Standard 2009

※ Intel Core は Intel Corporation の商標です。

※ Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。